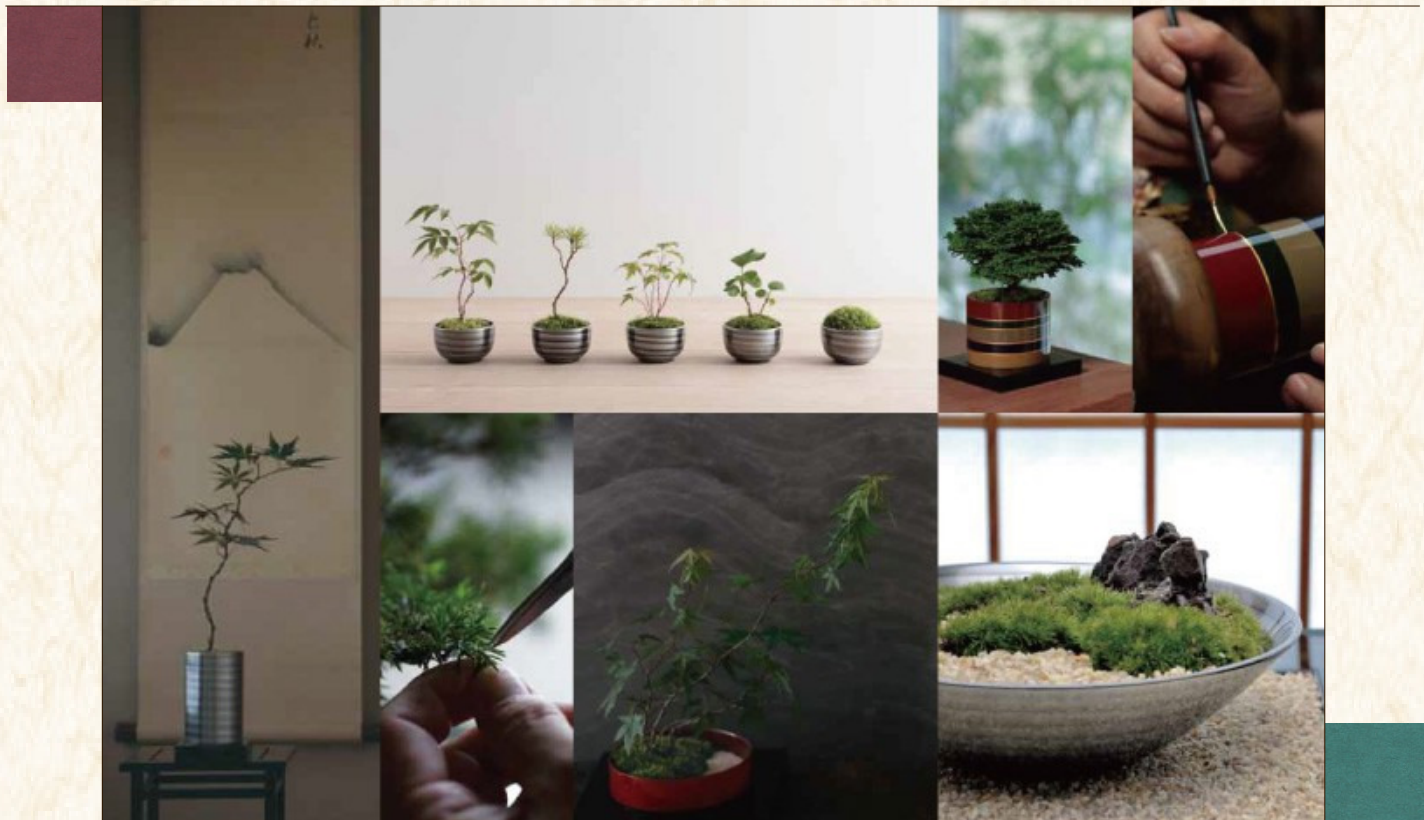

「ミニ盆栽×漆器」
ちよこぼん



「気軽にちよこっと盆栽を」

ちよこぼん

「盆栽 × 空」



「気軽にちょこっと盆栽を」



ちょこぼん
とは...

「気軽にちょこっと盆栽を」からスタートしたちょこぼん。

初めての人でもお部屋で簡単に水やりするために、鉢と受け皿を
一体で考えました。

さらに植物までもトータルにコーディネートしています。

●「気軽にちょこっと盆栽を」



忙しい日常に追われる生活だからこそ、日本人
としての一服の心のオアシスが求められているの
でしょう。

お部屋の中に日本庭園を切り取り、小さな庭園
を気軽に置いてみる。

ミニ盆栽『ちょこぼん』は、気軽にお部屋の中に
小宇宙を演出し、インテリア感覚で楽しめる古くて

新しいモダンなミニ盆栽として、越前塗りの技術を生かし新しい塗りの開発を行っています。

また、簡単にお部屋で育てることを考えて木・器・受け皿や土まで提案しています。

●どんな場所にもちょこっと置く



近年、時代の移り変わりと共に住居やショップなどが、より個性(こだわり)を持ち始めています。

そんな人々のこだわり、美しい日本の美意識をちょこっと取り入れてもらえたらと考え、どんなテイストの空間にも調和する存在としてミニ盆栽『ちょこぼん』は生まれました。空間の持つ空気感や、イメージを心地よいものに変えてくれる観葉植物に、盆栽の持つ和のエッセンスを。

『ちょこぼん』はインテリア・ミニ盆栽として、観葉植物感覚で気軽に楽しむ事ができます。

従来の既成概念にとらわれず、人とミニ盆栽の距離を縮め、より身近、より気軽な存在となる。どんな場所にもちょこっと置いてもらいたい。

それがミニ盆栽『ちょこぼん』です。

● 盆栽の作り手と器の作り手による受注生産

ミニ盆栽『ちょこぼん』は在庫を持たずに、ご注文を受けてから盆栽職人が手間隙かけてミニ盆栽をおつくりします。

ミニ盆栽につかう樹木や苔の状態を見極めることや、植えた苔を馴染ませる時間も少々必要なためです。そのため、発送するまでに10日間ほどお時間をいただいております。



気軽に楽しめる盆栽で、 空想世界を楽しむ

盆栽という日本の伝統文化をもっと生活の中に浸透させ、もっと身近なものにしていきたい。難しい、古臭い、枯らしてしまう。そんな「盆栽」のイメージを変え、もっと盆栽の良さや楽しむことを知っていただける盆栽スタイルを常に考えています。

現代的な生活スタイルに溶け込む、観葉植物感覚のインテリア・ミニ盆栽から、日本の美意識を感じていただき、そして空想の中で自由に遊んでいただき心をほぐしてもらいたい。

心の目で盆栽を楽しむ。そのようなちょっとした時間をつくって楽しんでいただくために、既成概念にとらわれない創作を続けてまいります。



モダンな塗り物で、 暮らしに和のやすらぎ

1500年の歴史と伝統をもつ漆器産地の越前。

日々の暮らしの中で生み出された機能美を追求してきた漆器です。刷毛を使用して多彩な塗り技法を施しています。優雅な古典美と堅牢さが息づく越前塗、そして器と盆栽によるコラボレーションが絶妙な風合いを醸し出しています。実際に手にとってお楽しみ下さい。



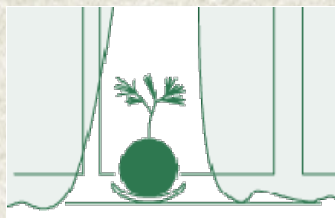
ちよこぼん お手入れ

- コケ玉タイプ -

4つのキホン

その1 比較的日当たりと風通しのよい場所におく例)レースカーテン越しの窓辺など

- ・空調風が直接当たらないところにおいてください。
- ・蒸れに注意してください。
- ※室内の場合、夏場などは高温多湿状態になります。直射日光を避けた、風通しの良い場所で管理しましょう。
- ・晴れた日には、外で日光浴をさせてあげて下さい。(風の強い日、夏場は直射日光はさけてください。)



【ポイント】直射日光を避けた戸外の明るい日陰、もしくは風通しのよい台の上で管理してください。

その2 表面が乾きだしたら、全体(中心部まで)にいきわたるようにつぶり水を与える

- ・水受けに水を張って吸水させて、苔の中の植物の根に水が届くようにつぶりあげてください。霧吹きは一時的なもので、苔表面のみになります。苔は常に湿った状態を保ってください。
- ・与えすぎも注意です(根腐れの原因になります)。目安として、1日で水受けの水がなくなる程度。水受けに水がたまったらこまめに捨ててください。
- ・外で管理している場合、目安として、夏:朝、夕2回/日、春秋:1回/日、冬:1回/3~4日
- ・どぶ浸けする水やり法もあります。

どぶ浸けとは・・・
バケツなどに水を張り、苔玉ごと1/3~1/2くらいまで水に浸けて下さい。浸ける時間は10秒ほどです。乾き具合によって時間を伸ばしてください。



どぶ浸
(通常は10秒ほど)

【ポイント】苔玉が乾いて軽くなっていたら、10分位水にどぶ浸けしてください。その後、十分に水切りしてください。

その3 春と秋に一回ずつ、薄めの液体肥料を与える

- ・固形肥料は苔が変色するため、液肥を使用してください。
- ・うすめに(1500~2000倍)施肥をしてください。
- ・休眠期(8,12,1~3月)は施肥しないでください。



【ポイント】1500~2000倍に薄めた液肥を入れた容器に、水管理の要領で、苔をどぶ浸けしてください。苔表面だけでなく、苔の中の植物の根にまで浸透するようにつぶりあげてください。

その4 旅行などの長期外出で3日以上(夏場は2日)水を与えられない場合は、『腰水』を行って下さい

- ・腰水とは・・・バケツなどに水を張り、ちよこぼんの器の高さ1/3~1/2くらいまで浸けて、底穴から水を吸わせる吸水方法のこと。
- ・苔表面に湿った布などをかぶせて乾燥を防ぐのもよいですが、一日位しか持ちません。



腰水

【注意】あくまでも短期的な応急処置で、常用すると根ぐされになるので注意してください。夏場の水管理が不安な場合も有効ですが、この場合は、水の高さを1日でなくなるくらいの量に調整して行って下さい。

根腐れ防止対策

- ①しおれた葉を除去
- ②苔の表面が乾いたら、つぶり水を与えてください。
- ③器は木が植えてある方を高くし、白砂側が低くなるように傾けて置くと根腐れ防止になります。
- ④置き場所は、日向は避けてください。

ちよこぼん お手入れ

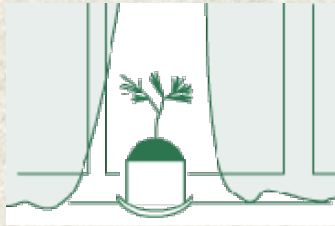
- 表面がコケだけの砂なしタイプ -

4つのキホン

その1

比較的日当たりと風通しのよい場所におく例)レースカーテン越しの窓辺など

- ・空調風が直接当たらないところにおいてください。
- ・蒸れに注意してください。
- ※室内の場合、夏場などは高温多湿状態になります。直射日光を避けた、風通しの良い場所で管理しましょう。
- ・晴れた日には、外で日光浴をさせてあげてください。(風の強い日、夏場は直射日光はさけてください。)



【ポイント】直射日光を避けた戸外の明るい日陰、もしくは風通しのよい台の上で管理してください。

その2

表面が乾きだしたら、全体(中心部まで)にいわたるようにつぶり水を与える

- ・水受けに水を張って吸水させて、苔の中の植物の根に水が届くようにつぶりあげてください。霧吹きは一時的なもので、苔表面のみになります。苔は常に湿った状態を保ってください。
 - ・与えすぎも注意です(根腐れの原因になります)。目安として、1日で水受けの水がなくなる程度。水受けに水がたまったらこまめに捨ててください。
 - ・外で管理している場合、目安として、夏:朝、夕2回/日、春秋:1回/日、冬:1回/3~4日
- どぶ浸ける水やり法もあります。
どぶ浸けとは・・・
バケツなどに水を張り、苔玉ごと1/3~1/2くらいまで水に浸けて下さい。
浸ける時間は10秒ほどです。乾き具合によって時間を伸ばしてください。

【ポイント】

器全体を10秒位水にどぶ浸け、または器の中までしっかりと水をしみ渡らせるように上からかけてください。その後、十分に水切りしてください。



受け皿がない商品の場合

- ・水を与えた後、しっかりと水切りをしてから室内に取りこむようにしてください。
- ・水分で家具などの接触面が変色しますのでご注意ください。

その3

春と秋に一回ずつ、薄めの液体肥料を与える

- ・固形肥料は苔が変色するため、液肥を使用してください。
- ・うすめに(1500~2000倍)施肥をしてください。
- ・休眠期(8,12,1~3月)は施肥しないでください。



【ポイント】1500~2000倍に薄めた液肥を入れた容器に、水管理の要領で、器全体をどぶ浸けしてください。

その4

旅行などの長期外出で3日以上(夏場は2日)水を与えられない場合は、『腰水』を行って下さい

- ・腰水とは・・・バケツなどに水を張り、ちよこぼんの器の高さ1/3~1/2くらいまで浸けて、底穴から水を吸わせる吸水方法のこと。
- ・苔表面に湿った布などをかぶせて乾燥を防ぐのもいいが、一日位しか持ちません。



腰水

【注意】あくまでも短期的な応急処置で、常用すると根ぐされになるので注意してください。夏場の水管理が不安な場合も有効ですが、この場合は、水の高さを1日でなくなるくらいの量に調整して行って下さい。

根腐れ防止対策

①しおれた葉を除去

②苔の表面が乾いたら、つぶり水を与えてください。

③器は木が植えてある方を高くし、白砂側が低くなるように傾けて置くと根腐れ防止になります。

④置き場所は、日向は避けてください。

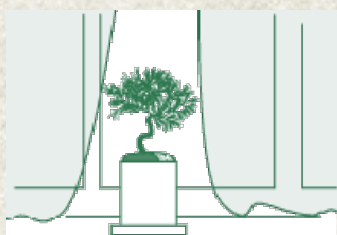
ちよこぼん お手入れ

- 表面がコケと砂がのったタイプ -

4つのキホン

その1 比較的日当たりと風通しのよい場所におく例)レースカーテン越しの窓辺など

- ・空調風が直接当たらないところにおいてください。
- ・蒸れに注意してください。
- ※室内の場合、夏場などは高温多湿状態になります。直射日光を避けた、風通しの良い場所で管理しましょう。
- ・晴れた日には、外で日光浴をさせてあげてください。(風の強い日、夏場は直射日光はさけてください。)



【ポイント】直射日光を避けた戸外の明るい日陰、もしくは風通しのよい台の上で管理してください。

その2 表面が乾きだしたら、全体(中心部まで)にいきわたるようにたっぷり水を与える

- ・水受けに水を張って吸水させて、苔の中の植物の根に水が届くようにたっぷりあげてください。霧吹きは一時的なもので、苔表面のみになります。苔は常に湿った状態を保ってください。
- ・与えすぎも注意です(根腐れの原因になります)。目安として、1日で水受けの水がなくなる程度。水受けに水がたまったらこまめに捨ててください。
- ・外で管理している場合、目安として、夏:朝、夕2回/日、春秋:1回/日、冬:1回/3~4日

【水をかける際の注意】
水を砂にかけると砂が流れてしまうので、砂にはかからないように水をあげてください。

【ポイント】
器の中までしっかりと水をしみ渡らせるように上からかけてください。その後、十分に水切りしてください。



受け皿がない商品の場合

- ・水を与えた後、しっかりと水切りをしてから室内に取りこむようにしてください。
- ・水分で家具などの接触面が変色しますのでご注意ください。

その3 春と秋に一回ずつ、薄めの液体肥料を与える

- ・固形肥料は苔が変色するため、液肥を使用してください。
- ・うすめに(1500~2000倍)施肥をしてください。
- ・休眠期(8,12,1~3月)は施肥しないでください。



【ポイント】1500~2000倍に薄めた液肥をジョーロなどに入れて、あげてください。

その4 旅行などの長期外出で3日以上(夏場は2日)水を与えられない場合は、『腰水』を行って下さい

- ・腰水とは・・・バケツなどに水を張り、ちよこぼんの器の高さ1/3~1/2くらいまで浸けて、底穴から水を吸わせる吸水方法のこと。
- ・苔表面に湿った布などをかぶせて乾燥を防ぐのもいいが、一日位しか持ちません。



腰水

【注意】あくまでも短期的な応急処置で、常用すると根ぐされになるので注意してください。夏場の水管理が不安な場合も有効ですが、この場合は、水の高さを1日でなくなるくらいの量に調整して行って下さい。

根腐れ防止対策

- ①しおれた葉を除去
- ②苔の表面が乾いたら、たっぷり水を与えてください。
- ③器は木が植えてある方を高くし、白砂側が低くなるように傾けて置くと根腐れ防止になります。
- ④置き場所は、日向は避けてください。

